

市長のタウンミーティング 上野方地区

(敬称略)

	開催日時	令和元年11月26日(火) 19:00～20:45
	会場	上野方公民館
	参加人数	49名
	開会挨拶 書記	上野方地域活性化協議会長 馬場 均 金三津 匠

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	上野方	行財政改革	人員はコストではなく財産だと私は見えていますので、職員の削減はできるだけ抑えてやっていただきたい。
2	上野方	財政健全化	学校の体育館を使う際にもいくらか料金をとることにしてはどうか。
3	上野方	公共施設	旧沢崎家が来年の3月で公開を休止するということが報道されてた。たとえ休止しても旧沢崎家は県の文化財である以上、維持管理は必要である。文化財を休止することは街の衰退といっても過言ではないと思う。高円堂用水が注目されていますので有料にするなど何か良い方法はないのか考えてほしい。
4	上野方	鳥獣被害対策	クマの被害は上野方ではあまりないが、サルの被害が非常に多くて、その対策を検討してほしい。
5	上野方	財政健全化	市役所の前に募金箱を設置して募金してもらい借金をなくすんだくらいの取組があっても面白いと思う。なんとか、借金をなくして、職員の給料も上げて良い人材を確保して、ぜひ入りたい職場だと思ような活気を作っていって欲しい。
6	上野方	観光振興	うおづのうまい水については、若干の収益事業ということが中途半端である。私たちは、水はうまくて当たり前とっていても、東京に行ったらそれが当たり前ではないので、もっと良い発想が出ると思う。もう少し工夫ができるのではないか。この水のうまさは魚津ならではのものだと思う。

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	上野方地区	日時	11月26日(火) 19時00分より 20時45分まで		参加者数	49名
会場名	上野方公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	商工観光課 金三津 匠	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか		地区からの 主な参加者	地区振興協議会長、各種団体関係者ほか		

1. あいさつ

上野方地域振興会 会長 馬場 均

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○人件費の削減について

人件費の削減にはよろしくないと思っていて、人が財産ということで、市長も断腸の思いでやっておられるということは理解できます。今後、イノベーションや事務の適正化等で必要のない人員は適正化していくということでしたが、無理に減らすのではなくて、自然にそういう風にしていく仕組みを作っていくという趣旨のご発言だったと思っています。

私の知る限り行政マンは優秀な方が多く、また明るい方も多く思っていて、固定的な仕事だけではなく、地域をまわっていろいろなことをプラスにもっていくことに活力を向けていけば、決して減らすことは良いことではないと思っています。先般も、行政職員と商工会議所の経営指導員が足繁く企業を回っておられ、私の事務所にも助成金の紹介をしに来られました。そういった活動をすることが大切な分野であると思うので、人員はコストではなく財産だと私は見えていますので、職員の削減はできるだけ抑えてやっていただければと思っています。

（村椿市長）

職員数については、今後5年間で23名を減らしていきます。ただ、それは無理やり減らすわけではありません。住吉保育園のように民営化にともなって必然的に減少していく保育士の分があり、また、行政職員も10人減ることになりますが、私が言っているのは仕事をまず見直していきましょうということです。大切なのはサービスの質だと思っています。質を高めて市民サービスや事業所さんのニーズに応えたことができるようにしていきましょうということです。昨年や10年前と同じことをするために人員を確保する必要はないので、質をしっかりと高めていくことをやろうと話しています。職員は財産なので、その部分は大切にしていきたいと思っています。

○学校体育館の利用料について

総合体育館を集約してありそドームに一本化するということで、その他にも学校や地区体育館の活用と資料に記載があります。それはやっていくべきだと思います。総合体育館を使う際もわずかですが使用料をとっていますが、学校の体育館を使う際にもいくらか料金をとることにしてはどうでしょうか。

（村椿市長）

色々な施設の中で料金を取らずに使用いただいているサービスもあるので、それも含めて利用者負担をいただくことを検討はしています。ただ、今回の利用料の引き上げについては、今まで使用料をいただいていたもので水準が低いものを引き上げようということで、今まで使用料をもらっていないものをとろうというのは、皆様にしっかりした説明が必要だと思うのでまだそこまでは踏み込んでいません。

料金をいただくものはいただいて、使用できる環境を少しでも良くしていくことが大事だと思っています。

○歴史民俗博物館について

天神山の歴史民俗博物館ですが、旧沢崎家が来年の3月で公開を休止するということが報道されていきました。たとえ休止しても旧沢崎家は県の文化財である以上、維持管理は必要です。以前は有料だったと思いますが、その後無料になったと思っています。文化財を休止するという事は街の衰退といっても過言ではないと思います。高円堂用水が注目されていますので有料にするなど何か良い方法はないのか考えていただけないでしょうか。

(村椿市長)

東山円筒分水槽が登録文化財の答申をいただいて、来年の春には正式に登録になります。現在、東山円筒分水槽を核として高円堂用水あるいは天神山を含めた地域づくりのプランを立てています。できれば天神山を、小学生が遠足に行くような山にしたいという思いでいます。

その話と、今の施設に人を配置して同じように利用するという事とは、別の話になります。人の流れを作って今ある施設を生き返らせるようなことができないかということを考えていく必要があると思っています。

また、文化財は放置すると朽ちてしまいますので、文化財として機能を損なわないような管理はやっていきます。

未来永劫今と同じように利用できるものではないですが、もっと利用できるような環境を整えて活かしていくということを考えるべきであると思っていますので、そういう意味で当分の間、適切な管理をして、一般の利用は必要最小限にとどめるということを考えなくてはならないのが現状です。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○有害鳥獣の被害について

イノシシを防ぐ柵の設置には感謝しています。クマの被害は上野方ではあまりありませんが、サル被害が非常に多くて、その対策を検討していただけないでしょうか。

(村椿市長)

これは魚津の中山間地域の共通の問題だと思っています。12月の補正予算では、クマが大変危険な状態なため、クマ・イノシシを中心とした有害鳥獣に対する取組にテコ入れをする予定です。サルは非常に賢く、困りものですが、サル対策も含めてしっかりやっていきますのでよろしくお願いします。

○市民の募金について

ふるさと納税について、魚津市民がやっても良いのか教えてください。また、市役所の前に募金箱を設置して募金してもらい借金をなくすんだくらいの取組があっても面白いと思います。なんとか、借金をなくして、職員の給料も上げて良い人材を確保して、ぜひ入りたい職場だと思えるような活気を作っていって欲しいです。

(村椿市長)

募金箱の話を含めて市民のみなさんの応援をいただけると心強いです。ふるさと納税は自分の住んでいる自治体にすること自体はできますが、返礼品はもらえません。

職員の話はおっしゃるとおりで、できれば日本一給料が良いといえるくらいの自治体にな

れば良いですが、今はまだ厳しいので、そうなることを目指してやっていきたいと思えます

〇うおづのうまい水について

うおづのうまい水は防災のための水として作ったものなのでしょうか。目的や趣旨を教えてください。

(村椿市長)

うまい水は毎年2万本製造しています。うまい水は魚津の水の良さを知ってもらうこと、また売上の10円を環境保全のために利用することとしていて通常のペットボトルの水より少し高い価格になっています。魚津の最大の資源である水をPRすると同時に、魚津の森林環境を活用するための財源として製造しています。水道局で作っていて、若干の収益事業になっています。

うおづのうまい水については、若干の収益事業ということが中途半端で、私たちは、水はうまくて当たり前と置いていても、東京に行ったらそれが当たり前ではないので、もっと良い発想が出ると思えます。もう少し工夫ができるのではないかと思えます。この水のうまさは魚津ならではのものだと思います。

(村椿市長)

この水は魚津の最大の資源だと思っています。また、今の製造規模やPR展開は中途半端だと思っています。日本橋富山館に行った際に、デザインを変えれば1本200円でも売れるという話をしていました。そういった取組をしたいと置いて、今検討中です。製造ロットをあげて、同時に価値を高めると一気に事業性が高まり、そして、PRの度合いも高まる、そういうことを目指してやっていきます。